

## 事業評価書

継続事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:古民家等の維持・管理事業(基金)						
補助事業者名	福生市長						
事業主体	福生市						
実施場所	福生市福生1158番地						
継続事業の目的	本市では、祖先の遺した貴重な文化遺産を現代に生かし、さらに未来に伝えることを目的に文化財保護行政を行っているが、市としてかつての福生の生活様式を伝える古民家を有しておらず、従来より古民家を活用した事業を行う必要性を感じていた。 平成25年度に相続の関係から市内の古民家を購入する目処が立ったことから、古民家保存事業(基金)により、市として古民家を購入し、従来からの課題であった市内の生活様式を伝えるための事業に着手し、古民家を活用するとともに、後世に適切な形で残していくために必要となる維持管理を行っていく。						
継続事業の内容	古民家等の維持・管理 (管理人配置、修繕、庭木管理等)						
継続時事業の始期及び終期	基金の造成:平成25年度 基金の処分:平成26年度から令和4年度						
継続事業に要した経費の総額及び交付金充当額	継続事業に要した経費の総額				交付金充当額		
	7,745,480円				5,000,000円		
基金の造成及び処分	基金造成額(A)					基金処分額(B)	基金残額(A)-(B)
	交付金	市町村費等	その他	運用益	計		
	円	円	円	円	円	円	円
	39,006,000				39,006,000	37,450,000	1,556,000
継続事業の成果及び評価	<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4/25～5/31まで臨時休館の対応を行ったが、それ以外の日程については、年末年始を除き週6日で一般公開を行った。</p> <p>臨時休館中も、建物の維持管理に必要な作業があるため、来場者対応を除く管理業務を行うとともに、防犯、防火対策としての機械警備や、最低限必要な庭木の管理を行うことで、良好な状態で古民家を維持管理した。</p> <p>令和3年度来場者数1,593人とコロナ前と比べると来場者は落ち込んでいるが、令和2年度よりは増加しており、コロナ禍にあっても一定の来場者数があることから、遠出をためらっている人の受け入れ先としての効果も見て取れる。まだ団体見学での来場は限られており、その多くは個人での見学であるが、小学生から高齢者まで幅広い層に来場していただき、適正な維持管理の結果、好評を得ているところである。</p>						
継続事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

## 事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:市民会館指定管理委託事業(基金)								
補助事業者名	福生市長								
実施場所	福生市福生2455番地								
補助事業の成果の目標	<p>本市では、市民の芸術文化や文化創造の拠点として、市民の心豊かな生活と活力ある地域社会の実現に向けて、地域での芸術や文化の振興を図るために福生市民会館を設置している。</p> <p>当施設の運営は、平成20年度までは本市直営によるものであり、当時の運営上、芸術や文化の専門的知識やノウハウに乏しく、時代に即した文化活動への取組ができなかったため、利用者や来館者からサービスの改善を求められていた。</p> <p>そこで、平成21年度から指定管理者制度を導入し、民間事業者の専門的知識やノウハウを生かして、行政では実施することが困難な取組を行い、地域住民が質の高い芸術や文化に触れることができる身近な施設として、引き続き、より一層のサービス水準の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 福生市の人口 :58,243人 (平成31年1月1日現在)</p>								
補助事業の内容	福生市民会館の維持運営								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成25年度から令和2年度 基金の処分:平成26年度から令和5年度								
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)						基金処分額 (B)	基金残額 (A)-(B)	継続事業に要した額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	25	80,000,000				80,000,000		80,000,000	
	26	207,223,000				207,223,000	78,500,000	208,723,000	84,623,000
	27	60,304,000				60,304,000	77,000,000	192,027,000	84,578,000
	28						80,000,000	112,027,000	84,032,800
	29	37,973,000				37,973,000	75,000,000	75,000,000	85,508,000
	30	100,000,000				100,000,000	75,000,000	100,000,000	84,364,000
	元						60,000,000	40,000,000	69,124,750
2	200,000,000				200,000,000	60,000,000	180,000,000	91,018,000	
3						60,000,000	120,000,000	82,741,500	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]</p> <p>施設利用者及び来館者に対してサービス水準の満足度についてのアンケートを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内のスタッフの対応について、「非常に良い」、「まあまあ良い」を合わせて91%。</li> <li>・利用申込みの申請・チケットの購入などについて、「非常にスムーズ」、「まあまあスムーズ」を合わせて64%。</li> <li>・ホール・集会室などの清掃について、「非常に良い」、「まあまあ良い」を合わせて92%。</li> <li>・館内の案内表示の見やすさについて、「非常に良い」、「まあまあ良い」を合わせて59%。</li> </ul> <p>全般に「非常に悪い」、「やや悪い」という回答はなく、利用者のサービス水準についての全体の満足度は非常に高いレベルである。</p> <p>よって、目標は達成できたと考えられる。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]</p> <p>本事業について防衛省の交付金を活用して実施している旨を、市民会館ホームページ、教育広報「福生の教育」及び市民会館館報「イベントインフォメーション」に掲載して、周知を図った。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

## 事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:英語教育指導助手(外国人)委託事業(基金)								
補助事業者名	福生市長								
実施場所	福生市内								
補助事業の成果の目標	<p>福生市では、本市の子どもに、自信と誇りを持たせ、グローバル化する社会においても、積極的に人とコミュニケーションが図れる資質・能力を育成する英語教育を展開することを重点目標としている。その目標達成の基幹となる本事業の推進のため、民間委託により外国人英語指導助手(ALT)を中学校に配置し、併せて小学校に随時巡回することで、児童・生徒が「話したいときや書きたいときに英語を使うことができる」という、より自然な学習環境を整備する。</p> <p><b>【参考指標】</b>  平成28年度の各小中学校児童・生徒数(平成29年1月8日現在)  第一小学校:306名 第二小学校:424名  第三小学校:525名 第四小学校:217名  第五小学校:249名 第六小学校:401名  第七小学校:266名 (小学校計 2,388名)  第一中学校:426名 第二中学校:480名  第三中学校:287名 (中学校計 1,193名)  (児童・生徒数合計 3581名)</p>								
補助事業の内容	英語教育指導助手(外国人)の中学校常駐及び小学校巡回配置に係る業務委託								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成27年度から平成28年度 基金の処分:平成28年度から令和4年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)					基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額	
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益				
		円	円	円	円	円	円	円	円
	27	20,000,000				20,000,000		20,000,000	
	28	90,000,000				90,000,000	10,000,000	100,000,000	16,114,429
	29						10,000,000	90,000,000	15,035,642
	30						18,000,000	72,000,000	26,170,128
	元						18,000,000	54,000,000	23,471,565
2						18,000,000	36,000,000	22,515,162	
3						18,000,000	18,000,000	23,699,044	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]  <b>【アンケート結果】</b>  令和3年度は中学3年生と中学校教員を対象にアンケートを実施した。アンケート結果から、福生市の学習環境が整備されたと判断した。  ・英語の授業中によく英語を使いますか  中学生 85.6%  ・ALTが英語の授業に来るのが楽しみ  中学生 81.8%  ・ALTの英語はよくわかる  中学生 81.8%  ・ALTの授業は児童・生徒の英語の力をつけるのに役に立つと思う  中学校教員 100%  [地域住民への周知の実施状況]  市ホームページ及び教育広報「福生の教育」に掲載した。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

## 事業評価価値書

補助事業名	住民の生活の安全に関する事業:通学路見守り委託事業(基金)								
補助事業者名	福生市長								
実施場所	福生市内								
補助事業の成果の目標	<p>児童・生徒が登下校中に犯罪や交通事故に巻き込まれる事件が全国的に後を絶たない状況がある。</p> <p>福生市内においては、不審者情報が頻繁に寄せられ、児童が怪我を負わされたりする事件等が発生している。また、これまでも児童の保護者や地域の方々が、自主的に登下校中の見守りを行っているが、地域の特性等や意識により、見守りの状況は、学校ごとに異なっている。</p> <p>このため、全児童が登下校中に犯罪及び交通事故による被害を受けないよう、全小学校の通学路において見守り体制を整備し、児童の安全確保を図る。</p> <p>【参考指標】 教育委員会に寄せられた不審者情報件数 実績 平成26年度 23件 平成27年度 13件(平成27年12月末現在)</p>								
補助事業の内容	通学路見守り員の配置及び巡回に係る業務委託								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成27年度から令和2年度 基金の処分:平成28年度から令和4年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金処分数額(B)	基金残額(A)-(B)	継続事業に要した額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	27	20,000,000				20,000,000		20,000,000	
	28						10,000,000	10,000,000	11,167,540
	29	30,000,000				30,000,000	10,000,000	30,000,000	11,636,917
	30						10,000,000	20,000,000	11,941,505
	元						10,000,000	10,000,000	12,180,055
2	20,000,000				20,000,000	10,000,000	20,000,000	11,469,860	
3						10,000,000	10,000,000	11,402,223	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 令和3年度においても学校や保護者を対象に見守り事業に関するアンケートを実施し、92%の方から「児童の通学が安全になった」との回答があり、継続して市民から一定の評価があったと考えている。 市に寄せられた不審者情報件数については、令和3年度は13件であった。見守り員に不審者情報を提供することで、より効果的な見守りを行った。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 市ホームページ及び教育広報「福生の教育」に見守り事業について掲載して、周知を図った。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

## 事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:市立学校ICT推進事業(基金)								
補助事業者名	福生市長								
実施場所	福生市内								
補助事業の成果の目標	<p>福生市では教育の情報化を効果的・効率的に取り組み、魅力ある学校づくりを推進することを目的とし、「福生市立学校ICT推進計画」を推進する。 このことにより、市立学校においてICT機器を活用した授業等を展開し、児童・生徒の「学習意欲」「興味喚起」「理解促進」の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 令和元年度の各小・中学校児童生徒数(令和2年1月8日現在) 福生第一小学校:321名 福生第二小学校:422名 福生第三小学校:472名 福生第四小学校:237名 福生第五小学校:274名 福生第六小学校:379名 福生第七小学校:245名 (小学校計 2,350名) 福生第一中学校:435名 福生第二中学校:401名 福生第三中学校:234名 (中学校計 1,070名) (児童・生徒数合計)3,420名</p>								
補助事業の内容	市立小・中学校に設置するパソコンやタブレット端末の機器借上等								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成28年度から令和5年度 基金の処分:平成29年度から令和7年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)					基金処分額(B)	基金残額(A)-(B)	継続事業に要した額	
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益				
		円	円	円	円	円	円	円	円
	28	12,200,000				12,200,000		12,200,000	
	29	44,000,000				44,000,000	7,980,000	48,220,000	9,981,468
	30	91,457,000				91,457,000	31,740,000	107,937,000	39,700,314
	元	35,566,000				35,566,000	53,390,000	90,113,000	66,766,818
2	80,000,000				80,000,000	63,540,000	106,573,000	79,475,211	
3						61,110,000	45,463,000	80,262,844	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 令和3年度では、年次更新作業を終えた5月より個別学習用タブレット端末の利用を開始し、年度末に児童・教員・保護者へのアンケートを実施した。 回収したアンケートでは、「iPadがあると授業がわかりやすいか」という設問で約9割の児童が肯定的な回答をしており、引き続きの導入効果があったと考えられる。 「iPadの操作に慣れましたか」の設問では「慣れた」との回答が77%、「iPadを授業でどれくらい使っているか」の設問では、1週間に2~3回以上の割合が半数を超えており、活用が進んでいると言える。 また「iPadをこれからも学校でつかいたいですか?」という設問では約9割の児童が肯定的な回答をしており、iPadがあることで授業への興味喚起や学習意欲の向上に寄与していると考えられる。</p> <p>保護者アンケートでは、「iPadを勉強で活用させたいか」との設問に対し、「させたい」という回答が約6割となっており肯定的な割合が多い。 自由記述では特に、コロナ禍におけるオンライン授業について評価をいただいている。 教員アンケートでは、週2回以上使用が71%となっており、令和3年度では担任だけではなく学校全体の集計としたため、令和2年度より数値は減少しているが、広く活用していると言える。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 保護者宛て周知文書への記載、貸与品(タブレット端末・充電保管庫)への表示を行った。また、市ホームページ及び教育広報「福生の教育」に掲載して、周知を図った。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

## 事業評価書

補助事業名	交通に関する事業:自転車等駐車場指定管理委託事業(基金)								
補助事業者名	福生市長								
実施場所	福生市内								
補助事業の成果の目標	<p>福生市では、駅前広場等における自転車の放置を防止し、交通安全、防災活動の確保並びに市民生活の安全を確保するため、市内JR路線5駅8か所において自転車等駐車場を設置している。また、おおむね300メートルの範囲内で必要な区域を「放置自転車等禁止区域」と設定している。</p> <p>専門的な知識を持つ指定管理者を置くことにより、施設の良い維持管理及び利用者のサービス向上を図り、駐輪場を多くの人に利用してもらうことによって、市内放置自転車等禁止区域における放置自転車台数の削減を目指す。</p> <p>【参考】福生市内放置自転車等禁止区域における放置自転車撤去台数  平成27年度 732台  平成28年度 747台  平成29年度 563台  平成30年度 569台</p>								
補助事業の内容	自転車等駐車場の管理・運営								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成30年度から令和元年度 基金の処分:令和元年度から令和5年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	30	4,000,000				4,000,000		4,000,000	
	元	26,000,000				26,000,000	6,000,000	24,000,000	10,100,000
2						6,000,000	18,000,000	11,023,000	
3						6,000,000	12,000,000	11,016,000	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕  福生市内放置自転車等禁止区域における放置自転車撤去台数  令和3年度352台</p> <p>専門的な知識を持つ指定管理者が安定的に管理をしたことにより、施設の良い維持管理及び利用者のサービス向上が図られ、駐輪場を多くの人に利用してもらったことによって、補助事業開始当初より市内放置自転車等禁止区域における放置自転車台数の削減が図られた。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕  本事業について防衛省の交付金を活用して実施している旨を、市ホームページ、市広報に掲載して、周知を図った。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

## 事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業：地域体育館指定管理委託事業(基金)								
補助事業者名	福生市長								
実施場所	熊川地域体育館：福生市熊川380番地7 福生地域体育館：福生市武蔵野台一丁目8番地7								
補助事業の成果の目標	<p>スポーツ・レクリエーションの指導・普及、体育館の使用、施設等の維持管理等を専門的な知識・技術を活用できる指定管理者に行わせることにより、地域体育館利用者に質の高いサービスを提供する。</p> <p>【参考指標】平成29年度の利用者 熊川地域体育館：74,196人 福生地域体育館：161,878人</p>								
補助事業の内容	地域体育館の維持運営								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成30年度から令和2年度 基金の処分：令和元年度から令和5年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	30 元 2 3	70,000,000 140,000,000				70,000,000 140,000,000	42,000,000 26,000,000	70,000,000 126,000,000 100,000,000	63,544,608 64,180,475 27,216,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 利用者に対してサービス水準の満足度についてのアンケートを実施した。 ・スタッフの対応について、「非常に良い」、「まあまあ良い」を合わせて80.0% ・館内の清掃について、「非常に良い」、「まあまあ良い」を合わせて84.0% 全般に、利用者のサービス水準についての満足度は高いレベルである。 よって、目標は達成できたと考えられる。 なお、福生地域体育館については、令和3年度中、新型コロナワクチン接種会場となっていたため、基金の対象とはしていない。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 本事業について防衛省の交付金を活用して実施している旨を、市ホームページ、教育広報「福生の教育」に掲載し周知を図った。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

## 事業評価書

補助事業名	防災食育センター維持管理等委託事業(基金)								
補助事業者名	福生市長								
実施場所	福生市内								
補助事業の成果の目標	<p>福生市は、避難所・備蓄・応急給食機能等を有する災害時対応施設として防災食育センターを設置し、応急給食用の米4,500kg、汁物用乾燥具材45,000食分を備蓄している。平常時は、市内小中学校10校の児童生徒に安全・安心でおいしく、栄養バランスのとれた学校給食を安定的に提供していく。また、学校給食を提供する際に備蓄食材を使用し、入れ替えを行って、常に鮮度が保たれるよう管理し、災害時に市民へ応急給食を提供できるように備える。</p> <p>【参考指標】</p> <p>1 応急給食用備蓄米 4,500kg (15,000人×おにぎり2個×3日分)</p> <p>2 応急給食用汁物 45,000食分 (15,000人×1杯×3日分)</p> <p>3 令和3年度の学校給食喫食者数(令和4年2月1日現在) 3,729人</p>								
補助事業の内容	防災食育センターの維持管理、学校給食の調理、配送等の委託								
補助事業の始期及び終期	基金の造成: 令和2年度から令和5年度 基金の処分: 令和3年度から令和7年度								
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)						基金処分額 (B)	基金残額 (A)-(B)	継続事業に要した額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	2	178,980,000				178,980,000		178,980,000	
	3	639,097,000				639,097,000	250,000,000	568,077,000	272,436,857
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応急給食用備蓄米については、鮮度を維持するため、補充を行い給食調理に使用することで、4,500kgの備蓄を維持した。汁物用乾燥具材については、災害時等使用する機会がなかったため補充は行わず、45,000食分の備蓄を維持した。併せて、管理記録を作成し、保管することで有事に備えることができた。</li> <li>・令和3年10月17日、市の防災訓練の一環として炊飯訓練を実施した。</li> <li>・学校給食実施予定上限回数小学校192回、中学校190回に対し、令和3年度は小学校平均191.4回、中学校平均189.7回実施した。</li> <li>・小・中学校10校の児童・生徒全学年及び毎日喫食する教職員に対しアンケートを実施し、給食が「おいしい」、「まあおいしい」及び「普通」を合わせた評価は93%であった。特に、災害時にも炊飯する「ごはん」については、「いつもおいしい」、「ほとんどおいしい」及び「普通」を合わせた評価は96%と高評価であった。全体の給食に対する満足度については、「満足している」及び「普通」を合わせた評価は92%であり、学校給食に対する満足度は高いレベルである。</li> </ul> <p>以上のことから目的は達成できたものと考えられる。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕</p> <p>本事業について防衛省の交付金を活用して実施している旨を、市ホームページ、教育広報「福生の教育」に掲載し周知を図った。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								